

# 「新しい科学」臨時休業明けの 年間指導計画参考資料

## 【2年】

# 単元2 動物の生活と 生物の変遷

【単元の目標】生物のからだは細胞からできていることを、観察を通して理解する。また、動物などについての観察・実験を通して、動物のからだのつくりとはたらきを理解し、さまざまな動物の比較から分析・解釈を行い、動物が分類できることなどを理解する。単元全体を通じ、自然環境を保全し生命を尊重しようとする意欲と態度を育てる。

本資料は、平成28年度用教科書「新編 新しい科学」に基づいて、学校での授業と、学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を示したものです。学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動をできるだけ多く取り入れる場合を想定しています。地域や学校の状況に合わせて、適宜、教材・学習活動を増減していただくなどしてご活用ください。また、様々な工夫や取組を行った上でなお、学習内容を年度内に終えることが困難な場合は、特例的な措置として、次年度に送る等の対応も考えられます。各学校の状況に応じて、適切にご判断ください。次年度に送る際は、今年度の移行措置内容に十分ご留意いただくとともに、担当教員間の引継ぎにもご配慮ください。

【単元 2】 1 章 生物と細胞（教科書 p.86～95）

【章の目標】 生物の組織などの観察を行い，生物のからだは細胞からできていること，そして植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだし，理解できるようにする。

時数	主な学習活動	頁	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「この単元で学ぶこと」についての説明を聞く。</li> <li>・ p.85 の単元の導入の写真などを参考にして，動物と植物も，地球上のさまざまな場所に生息していることについての解説を聞く。</li> <li>・ p.86 の「これまでに学んだこと」について，第 1 学年で観察したことを思い出す。</li> <li>・ 「before &amp; after」それぞれの細胞の絵をノートにかく。</li> <li>・ 生物のからだは，細胞からできており，細胞は，からだの部位によっていろいろな形とはたらきをしていることの説明を聞く。</li> </ul> <p>1 細胞のつくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ p.86 の細胞の写真，および p.87 図 1 を見て，植物や動物の細胞のちがいと共通点について話し合い，発表する。</li> <li>・ 「課題」「植物と動物の細胞のつくりの，共通する点と異なる点は，どのようなものだろうか。」について考える。</li> </ul>	86～87	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「これまでに学んだこと」についての学習活動。(0.1 時間)</li> <li>・ 「before &amp; after」について，学習前の自分の考えを記述する学習活動。(0.1 時間)</li> </ul>
2	<p>【観察 1】 植物と動物の細胞のつくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察 1 を行い，植物と動物の細胞のつくりを観察，スケッチし，結果をまとめる。</li> <li>・ p.90 「私のレポート」を参考にして，結果をまとめる方法について考える。</li> </ul>	88～90	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察 1 のレポートをまとめる学習活動。(0.3 時間)</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察の結果をもとに，植物と動物の細胞のつくりと特徴について話し合う。</li> <li>・ 観察の結果や p.90 図 1 の写真を見ながら，染色液を用いて観察した理由について話し合う。</li> <li>・ p.91 図 2 をもとに，細胞の基本的なつくりを確認し，植物と動物の細胞の特徴を，それぞれの生活のしかたと関連づけて考える。</li> <li>・ p.91 図 2 をもとに，細胞のつくりのはたらきについての説明を聞く。</li> <li>・ 「!まとめ」の説明を聞き，理解する。</li> </ul>	90～91	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (学校の授業で「!まとめ」の説明を聞いた後で，理解する段階の代替として) 「!まとめ」について，自分の言葉でまとめる学習活動。(0.1 時間)</li> </ul>

4	<p>2 単細胞生物と多細胞生物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「レッツ トライ！」ゾウリムシとクリオネを例に、生物の大きさと細胞の数やはたらきについて話し合う。</li> <li>・p.92「これまでに学んだこと」をもとに、1年で学習した水中の小さな生物について思い出す。</li> <li>・単細胞生物と多細胞生物についての説明を聞く。</li> <li>・「課題」「単細胞生物と多細胞生物では、細胞のつくりとはたらきにどのようなちがいがあるだろうか？」について話し合う。</li> <li>・p.92 図1をもとに、クリオネが多細胞生物であることを確認する。</li> <li>・p.92 図2をもとに、単細胞生物の細胞についての説明を聞く。</li> <li>・p.93 図3をもとに組織、器官の説明を聞く。</li> </ul>	92～93	
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・p.94 図1をもとに、単細胞生物の細胞と多細胞生物の細胞のちがいについて説明を聞く。</li> <li>・「!まとめ」の説明を聞き、理解する。</li> <li>・「学びを活かして考えよう」 p.87 図1, p.95 図2などをもとに話し合い、ミジンコ、ツバキ、ミドリムシなどの生物を、単細胞生物と多細胞生物に分類する。</li> <li>・p.95 図2をもとに、細胞の形や大きさは、生物の種類やからだの部分によって異なることの説明を聞く。</li> <li>・「チェック」これまでの学習事項を確認する。</li> <li>・「学んだことをつなげよう」各節で学んだことを確認して自分の考えをノートに記述し、発表する。</li> <li>・「before &amp; after」この章で学んだことをもとに、それぞれの細胞の絵をノートにかく。</li> </ul>	94～95	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(学校の授業で「!まとめ」の説明を聞いた後で、理解する段階の代替として) 「!まとめ」について、自分の言葉でまとめる学習活動。(0.1時間)</li> <li>・「学びを活かして考えよう」についての学習活動。(0.1時間)</li> <li>・「チェック」「学んだことをつなげよう」についての学習活動。(0.2時間)</li> <li>・「before &amp; after」について、学習後の自分の考えを記述する活動と学習前後の自分の考えの変化を見る学習活動。(0.1時間)</li> </ul>

【単元2】2章 動物のからだのつくりとはたらき（教科書 p. 96～124）

【章の目標】消化や呼吸，血液循環についての観察・実験を行い，動物のからだには，必要な物質をとり入れて運搬し，不要な物質を排出するしくみがあることを，各器官のつくりと関連づけて理解できるようにする。また，動物が外界からの刺激に反応しているようすを観察し，刺激を受けとってから反応が起こるまでのしくみや，実際にからだを動かすしくみを観察の結果と関連づけて理解できるようにする。

時数	主な学習活動	頁	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「before &amp; after」小学校で学んだことや生活経験をもとに自分の考えを記述し，発表する。</li> <li>・p.96 の写真を見ながら，動物はどのような活動を行い，活動するためのからだのつくりやはたらきにはどのようなものがあるか話し合う。</li> <li>1 消化と吸収</li> <li>・p.97 図1 を参考にして，食べ物にふくまれる栄養分，特にデンプンに関する説明を聞く。</li> <li>・「課題」「食物は体内でどのようなしくみによって消化・吸収されていくのだろうか。」についての説明を聞く。</li> <li>・だ液が作用するとデンプンが糖（麦芽糖）に変化することについての説明を聞く。</li> <li>・日常の体験（口の中にご飯粒を入れて，くり返しかみ続けると甘く感じるなど）との関連について話し合う。</li> <li>・「調べ方を考えよう」だ液のはたらきを調べる実験方法について話し合う。</li> <li>・ヨウ素液，ベネジクト液について，それぞれの性質（色の変化）などについての説明を聞く。</li> </ul>	96～97	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「before &amp; after」について，学習前の自分の考えを記述する学習活動。（0.1時間）</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・だ液のはたらきを調べる実験方法に関する説明を聞く。特に，ヨウ素液，ベネジクト液の性質とともに，対照実験に関する説明を聞く。</li> <li>・だ液のはたらきを調べる実験方法の具体的な手順などについて話し合う。</li> <li>【実験1】だ液によるデンプンの変化</li> <li>・実験1 を行い，だ液のはたらきを調べる。</li> <li>・結果をまとめるための方法について話し合う。また，実験結果をまとめた表を作成する。</li> </ul>	98～100	

3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「考察しよう」実験1の結果をまとめた表について、実験結果からわかることについて話し合う。</li> <li>・だ液のはたらきと性質について考察する。</li> <li>・p.100 図1をもとに、デンプンと麦芽糖に関する説明を聞く。</li> <li>・消化液および消化酵素に関する説明を聞く。</li> <li>・p.100 図2をもとに、実験1の試験管内で起こったことについて話し合う。</li> <li>・対照実験の意味について話し合う。</li> <li>・実験操作の意味（反応の温度、反応の時間）などについて話し合う。</li> </ul>	100	
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・p.101 図3を参考にして、ヒトの消化系のつくりとはたらきに関する説明を聞く。</li> <li>・p.101 表1をもとに、食物に含まれる栄養分に関する説明を聞く。</li> <li>・いろいろな食物の消化(消化酵素の種類とはたらき)についての説明を聞く。</li> </ul>	101	
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・p.102 図1を参考にして、消化の流れとそれぞれの消化酵素の役割についての説明を聞く。</li> <li>・p.103 図2を参考にして、小腸のつくりとはたらきについての説明を聞き、小腸の表面積が大きいことの利点について考察する。</li> </ul>	102~103	
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小腸から全身に栄養分が送られる過程についての説明を聞く。</li> <li>・大腸に関する説明を聞く。</li> <li>・「!まとめ」の説明を聞き、理解する。</li> <li>・「学びを活かして考えよう」ウシとライオンの消化管の長さのちがいを考える。</li> <li>・ヒト以外の動物の消化管のつくりのちがいについての説明を聞く。</li> <li>・「科学でGO!」で、肝臓の役割についての説明を聞く。</li> </ul>	103~104	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(学校の授業で「!まとめ」の説明を聞いた後で、理解する段階の代替として)</li> <li>・「!まとめ」について、自分の言葉でまとめる学習活動。(0.1時間)</li> <li>・「学びを活かして考えよう」についての学習活動。(0.1時間)</li> <li>・「科学でGO! すごい!大陸」を読んで、肝臓の役割について理解する。(0.1時間)</li> </ul>

7	<p>2 呼吸のはたらき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動物が、息をしないと生きられないことについて話し合う。</li> <li>生物の生命活動にはエネルギーが必要であることについての説明を聞き、エネルギーを、どのように得ているのか考える。また、植物の学習を思い出しながら動物と植物のちがいについて考える。</li> <li>「課題」「細胞の活動に必要な酸素は、どのようにからだにとり入れられ、細胞に届けられ、何に使われるのだろうか？」について話し合う。</li> <li>p.105 図 2 を参考に、エネルギーをとり出すときに必要なものについて、自動車などの例と比較しながら考える。</li> </ul>	105	
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>p.106 図 1 を参考に、肺のつくりとはたらきについての説明を聞く。</li> <li>「推測しよう」吸気と呼気で、酸素と二酸化炭素の濃度にどのようなちがいがあるかを考える。</li> <li>p.106 図 2 を参考に、呼気と吸気のちがいについて話し合う。</li> <li>細胞による呼吸についての説明を聞く。</li> <li>p.107 図 3 を参考に、肺でとり込まれた酸素が細胞によって使われることについての説明を聞く。</li> <li>「!まとめ」の説明を聞き、理解する。</li> <li>「学びを活かして考えよう」激しい運動をしたときに呼吸の回数がふえる理由を考える。</li> <li>「科学で GO!」を読み、肺が空気を取り入れるしくみについての説明を聞く。</li> </ul>	106~107	<ul style="list-style-type: none"> <li>(学校の授業で「!まとめ」の説明を聞いた後で、理解する段階の代替として)</li> <li>「!まとめ」について、自分の言葉でまとめる学習活動。(0.1 時間)</li> <li>「学びを活かして考えよう」についての学習活動。(0.1 時間)</li> <li>「科学で GO! ふしぎ大陸」を読んで、肺が空気を取り入れるしくみについて理解する。(0.1 時間)</li> </ul>
9	<p>3 血液のはたらき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「課題」「血液が流れる血管には、どのような種類があり、心臓はどのようにして血液を循環させているのだろうか。」について考える。</li> <li>p.108 図 1, 図 2 を見ながら、血管・心臓のつくりと動き方について説明を聞く。</li> <li>心臓に 4 つの部屋がある意味について話し合う。</li> <li>p.109 図 3, 図 4, p.110 図 1 を見ながら、動脈、静脈、動脈血、静脈血の説明を聞く。</li> <li>心臓を中心とした血液循環についての説明を聞く。</li> <li>「!まとめ」の説明を聞き、理解する。</li> <li>「学びを活かして考えよう」激しい運動をすると、心臓の拍動も激しくなる理由を考える。</li> </ul>	108~110	<ul style="list-style-type: none"> <li>(学校の授業で「!まとめ」の説明を聞いた後で、理解する段階の代替として)</li> <li>「!まとめ」について、自分の言葉でまとめる学習活動。(0.1 時間)</li> <li>「学びを活かして考えよう」についての学習活動。(0.1 時間)</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>p.110 図 1, 図 2, 図 3, 表 1 を参考に、血液の成</li> </ul>	110~111	

	<p>分, はたらきに関する説明を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酸素を運搬する赤血球のはたらきに関する説明を聞く。</li> <li>・ p.111 図 4 を参考に, 組織液についての説明を聞く。</li> <li>・リンパ管に関する説明を聞く。</li> </ul>		
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「調べよう」メダカの血液の流れを観察する。</li> <li>・動物をあつかう実験について, 実験動物に負担をかけない方法について考える。</li> </ul>	111	
12	<p>4 排出のしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「課題」「尿はどこで何からつくられるのだろうか。」について話し合う。</li> <li>・細胞の活動によって, 血液中に不要物が存在するようになること, および肝臓のはたらきに関する説明を聞く。</li> <li>・ p.112 図 1 を参考に, じん臓の位置, じん臓に運ばれる血液, 腎臓とぼうこうの結びつきなど, 尿が排出されることについての説明を聞く。</li> <li>・「!まとめ」の説明を聞き, 理解する。</li> <li>・「学びを活かして考えよう」食事や呼吸によってとり入れられた物質が, どのように変化していくかについて話し合う。</li> <li>・ p.113 図 3 を見ながら, 消化と吸収, 呼吸, 血液の循環, 排出の結びつきについて考える。</li> </ul>	112~113	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (学校の授業で「!まとめ」の説明を聞いた後で, 理解する段階の代替として)</li> <li>「!まとめ」について, 自分の言葉でまとめる学習活動。(0.1時間)</li> <li>・「学びを活かして考えよう」についての学習活動。(0.1時間)</li> </ul>
13	<p>5 刺激と反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ p.114 図 1 を参考に, 動物が刺激を受けとり, 活動するとき, はたらく器官について話し合う。</li> <li>・ p.114 図 1, p.115 図 3 を参考に, 動物が外界からの刺激を感知する器官 (感覚器官) についての説明を聞く。</li> <li>・「課題」「感覚器官には, どのようなものがあり, どのようなはたらきをするのだろうか。」について話し合う。</li> <li>・「推測しよう」 p.114 図 1 や p.115 図 3 などをもとに, 動物が受けとる刺激に, どのようなものがあるか話し合う。</li> <li>・ヒトが感知できないような刺激が存在し, それを感じとることができる動物がいることについての説明を聞く。</li> </ul>	114~115	
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ p.116~117 図 1 を見ながらヒトの感覚器官についての説明を聞き, 自分たちの身のまわりの刺激がど</li> </ul>	116~117	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (学校の授業で「!まとめ」の説明を聞いた後で, 理解する段階の代替として)</li> </ul>

	<p>こで受容されているか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚器官と神経についての説明を聞く。</li> <li>・「!まとめ」の説明を聞き、理解する。</li> <li>・「学びを活かして考えよう」調理の場面では、どのような刺激をどの感覚器官で受けとるかについて話し合う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「!まとめ」について、自分の言葉でまとめる学習活動。(0.1時間)</li> <li>・「学びを活かして考えよう」についての学習活動。(0.1時間)</li> </ul>
15	<p>6 神経のはたらき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・p.118 図1, 図2を参考にして、ヒトの神経系についての説明を聞く。</li> <li>・「課題」「感覚器官で受けとられた刺激は、神経経路のどこを伝わり、どのようにして反応を引き起こすのだろうか。」について話し合う。</li> </ul> <p>【実験2】刺激に対するヒトの反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験2Aを行い、皮膚で受けとる刺激に対する反応について調べる。</li> <li>・何回か実験を行った場合、人数を変えた場合についての結果の扱いについて話し合う。</li> <li>・p.120 図1, 表1をもとにして、意識して起こる反応にかかる時間について考える。</li> <li>・どのように刺激が信号として伝えられたかについての説明を聞く。</li> </ul>	118~119	
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験2Bを行い、無意識に起こる反応について確認する。</li> <li>・実験2Bについても、刺激を受けとってからの信号の伝わり方と反応のしかたについて考える。</li> <li>・p.120 図2を参考にして、反射のしくみを考える。</li> <li>・「!まとめ」の説明を聞き、理解する。</li> <li>・「学びを活かして考えよう」①朝、目覚まし時計が鳴ったので止めたという場面で、刺激の信号はどのように伝わったか話し合う。また、②反射にはどのようなものがあるか調べてみる。</li> </ul>	119~121	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(学校の授業で「!まとめ」の説明を聞いた後で、理解する段階の代替として)</li> <li>・「!まとめ」について、自分の言葉でまとめる学習活動。(0.1時間)</li> <li>・「学びを活かして考えよう」についての学習活動。(0.1時間)</li> </ul>
17	<p>7 骨と筋肉のはたらき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「レッツ トライ!」うでを曲げたりのぼしたりして、筋肉の動きについて話し合う。</li> <li>・p.122 図1を参考にして、ヒトの筋肉と骨に関する説明を聞く。</li> <li>・「課題」「うでやあしが動くとき、骨や筋肉は、どのようなはたらきをするのだろうか。」について話し合う。</li> <li>・p.123 図2を見ながら、骨、筋肉、けんについての説明を聞く。</li> </ul>	122~124	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(学校の授業で「!まとめ」の説明を聞いた後で、理解する段階の代替として)</li> <li>・「!まとめ」について、自分の言葉でまとめる学習活動。(0.1時間)</li> <li>・「学びを活かして考えよう」についての学習活動。(0.1時間)</li> <li>・p.123「どこでも科学」についての学習活動。刃物を扱う場合は、十分に注意し、観察の後は、せっけんで手を洗うようにする。(0.2時間)</li> <li>・「チェック」「学んだことをつなげよう」についての学習活動。(0.2時間)</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「！まとめ」の説明を聞き，理解する。</li> <li>・「学びを活かして考えよう」手首や足首が何種類の動きをするか，動かして調べてみる。こうした動きと関係している骨や筋肉はどこか，考える。</li> <li>・「どこでも科学」ニワトリの手羽先を使って，けんを引くと手羽先がのびるようすを確認する。このことから筋肉の収縮とけん，さらに骨の動きについて考える。</li> <li>・「チェック」これまでの学習事項を確認する。</li> <li>・「学んだことをつなげよう」ヒトが食物を食べるときに起こっていることを，内容を整理し，まとめて文章や図にしてみる。</li> <li>・「before &amp; after」この章で学んだことをもとに，自分の考えをノートに記載する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「before &amp; after」について，学習後の自分の考えを記述する活動と学習前後の自分の考えの変化を見る学習活動。(0.1時間)</li> </ul>
---	---

【単元2】3章 動物の分類（教科書 p.125～132）

【章の目標】動物の観察記録にもとづいて特徴を見だし、セキツイ動物ではからだのつくりやうまれ方などの特徴から、5つのグループに分類できることを理解する。また、動物のなかには背骨がない無セキツイ動物があり、無セキツイ動物もからだのつくりの特徴によって、いくつかのグループに分類できることを理解する。

時数	主な学習活動	頁	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「before &amp; after」p.125の図を用いて「動物分類ゲーム」を行い、動物を分類するときの観点について話し合う。</li> <li>1 セキツイ動物               <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物はセキツイ動物と無セキツイ動物に分類できることを確認する。</li> <li>・「レッツ トライ！」p.126～127の写真を見て、セキツイ動物と無セキツイ動物に分類する。セキツイ動物については、背骨の位置を確認する。</li> <li>・「課題」「からだのつくりやふえ方によって、セキツイ動物はどのように分類できるだろうか。」について話し合う。</li> </ul> </li> </ul>	125～127	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「before &amp; after」について、学習前の自分の考えを記述する学習活動。(0.1時間)</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セキツイ動物が5つのグループに分類できることの説明を聞く。</li> <li>・呼吸のしかたに関する説明を聞く。</li> <li>・卵生と胎生についての説明を聞く。</li> </ul>	128～129	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・p.129の図1を参考に、恒温動物と変温動物についての説明を聞く。</li> <li>・動物のからだのつくりと生活環境を考える。</li> <li>・「！まとめ」の説明を聞き、理解する。</li> <li>・「学びを活かして考えよう」セキツイ動物の5つのグループについて、共通する点と異なる点を表にまとめる。その際、p.132を参照させる。</li> </ul>	128～129, 132	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(学校の授業で「！まとめ」の説明を聞いた後で、理解する段階の代替として)</li> <li>「！まとめ」について、自分の言葉でまとめる学習活動。(0.1時間)</li> <li>・「学びを活かして考えよう」についての学習活動。(0.1時間)</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 無セキツイ動物               <ul style="list-style-type: none"> <li>・無セキツイ動物には、どのようなものがあるか話し合う。</li> <li>・p.130「これまでに学んだこと」を参考にして、昆虫が無セキツイ動物であることを確認する。</li> <li>・p.130図2を参考に、無セキツイ動物には、節足動物、軟体動物、その他のグループが存在することについての説明を聞く。</li> <li>・「課題」「無セキツイ動物のからだのつくりには、どのような特徴があるのだろうか。」について話し</li> </ul> </li> </ul>	130～131	

	合う。		
5	<p>【観察 2】 無セキツイ動物の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察 2A を行い、節足動物のからだのつくりや動き方を観察しスケッチする。</li> <li>・観察した節足動物のからだのつくりや動き方について観察の結果をまとめる。</li> <li>・昆虫類や甲殻類には、からだとあしに節があり、節足動物のなかまであることの説明を聞く。</li> <li>・p.123 のニワトリと比較して、どのようなちがいがあるか話し合う。</li> </ul>	131	
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セキツイ動物とイカのからだのちがいについて話し合う。</li> <li>・観察 2B を行い、軟体動物（イカ）の外部形態を観察する。</li> <li>・軟体動物（イカ）を解剖してからだのつくりを調べる。</li> <li>・観察 2A もふくめて結果をまとめ、考察を行う。</li> <li>・軟体動物のからだには、節がなく、外とう膜でおおわれていることが共通した構造であることの説明を聞く。</li> </ul>	131	
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無セキツイ動物には、それぞれのグループを特徴づけるからだのつくりがあることをまとめる。</li> <li>・「!まとめ」の説明を聞き、理解する。</li> <li>・「チェック」これまでの学習事項を確認する。その際、p.132 の分類表も参照する。</li> <li>・「学んだことをつなげよう」食品店で売られている食材のなかから、セキツイ動物と無セキツイ動物をさがして分類し、結果をノートに記載する。</li> <li>・「before &amp; after」この章で学んだことをもとに、自分の考えをノートに記載する。</li> </ul>	131～132	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(学校の授業で「!まとめ」の説明を聞いた後で、理解する段階の代替として)</li> <li>・「!まとめ」について、自分の言葉でまとめる学習活動。(0.1時間)</li> <li>・「チェック」「学んだことをつなげよう」についての学習活動。(0.2時間)</li> <li>・「before &amp; after」について、学習後の自分の考えを記述する活動と学習前後の自分の考えの変化を見る学習活動。(0.1時間)</li> </ul>
	学習内容の整理/確かめと応用	1時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習内容の整理」の確認と「確かめと応用」の問題を解く学習活動。(1.0時間)</li> <li>※ただし、「第4章 生物の変遷と進化」に関する部分については、扱わない。</li> </ul>
	予備	(10)時間	合計 5.0時間
	時間数	30(40)時間	